

## 宮城県高齢者人口調査の結果について

### 1 調査の目的

この調査は、県における高齢者人口の動向、在宅のひとり暮らし高齢者数を毎年把握し、各種施策の推進をはじめ、県及び市町村が策定している「高齢者福祉計画」の基礎数値として活用するため、実施しているものである。

### 2 調査の主体 宮城県

### 3 調査の方法 県が各市町村に調査を依頼し、住民基本台帳を基に各市町村で調査した数値を集計。 なお、住民基本台帳法の改正に伴い、平成26年からは外国人を含む数値となっている。

### 4 調査時点 平成27年3月31日現在

### 5 調査結果の概要

#### (1) 高齢者人口

##### ① 県の高齢者人口（65歳以上人口）……………表1

高齢者人口は576,141人となっており、総人口の増加率が-0.04%であるのに対し、高齢者人口の伸び率は3.4%増加となっている。

##### ② 県の高齢化率（総人口に占める高齢者人口の割合）……………表2

高齢化率は24.8%で前年と比較して0.8ポイント上昇している。

##### ③ 広域圏別高齢化率の状況……………表3

高齢化率が一番高いのは栗原圏域（34.6%）で、次いで気仙沼・本吉圏域（33.8%）、登米圏域（29.9%）、仙南圏域（29.4%）、石巻圏域（28.9%）、大崎圏域（28.0%）、仙台圏域（22.0%）となっている。

##### ④ 市町村別高齢化率の状況……………表4・5

高齢化率が一番高い市町村は七ヶ宿町（45.8%）、次いで女川町（36.3%）、丸森町（36.0%）、山元町（35.7%）、栗原市（34.6%）の順で、17市町が30%を超えている。一方、高齢化率が一番低い市町村は、富谷町（16.5%）で、次いで利府町（18.7%）、名取市（20.3%）、大和町（20.4%）、仙台市（21.5%）の順となっている。また、過疎指定9市町における高齢化率は30.4%で、その他の市町村（23.0%）と比べ高くなっている。

#### (2) 在宅のひとり暮らし高齢者

##### 在宅ひとり暮らし高齢者の状況……………表6

在宅ひとり暮らし高齢者数は100,709人で初めて10万人を超え、65歳以上の人口に占める割合は17.5%となっている。